

4 環境影響評価項目の土壤に係る地歴調査結果



根岸住宅地区に係る地歴調査

報 告 書

令和8年3月

日本工営都市空間株式会社

指定番号 2014-4-2003

－ 目 次 －

(1) 調査項目	1
(2) 調査範囲	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査結果の概要	2

資料 土壤汚染聞き取り調査結果

(1) 調査項目

調査対象地では、表-1 に示すとおり、令和2年度から令和4年度にかけて防衛省により土壌汚染対策法に係る調査が行われ、区域の指定等がなされている。(詳細は、資料6参照)
本調査では、その後の土地利用履歴を調査し、土壌汚染の状況を把握した。

表-1 土壌汚染対策法に係る調査履歴 (防衛省)

番号	業務名	調査期間	業務内容
①	根岸住宅地区(2) 土壌汚染資料等調査	令和2年6月18日～令和2年9月30日	地歴調査
②	根岸住宅地(2)土壌汚染調査	令和3年3月25日～令和3年8月31日	概況調査
③	根岸住宅地区(3)土壌調査	令和3年11月3日～令和4年6月30日	詳細調査

(2) 調査範囲

調査地域は、根岸住宅地区およびその周辺とした。

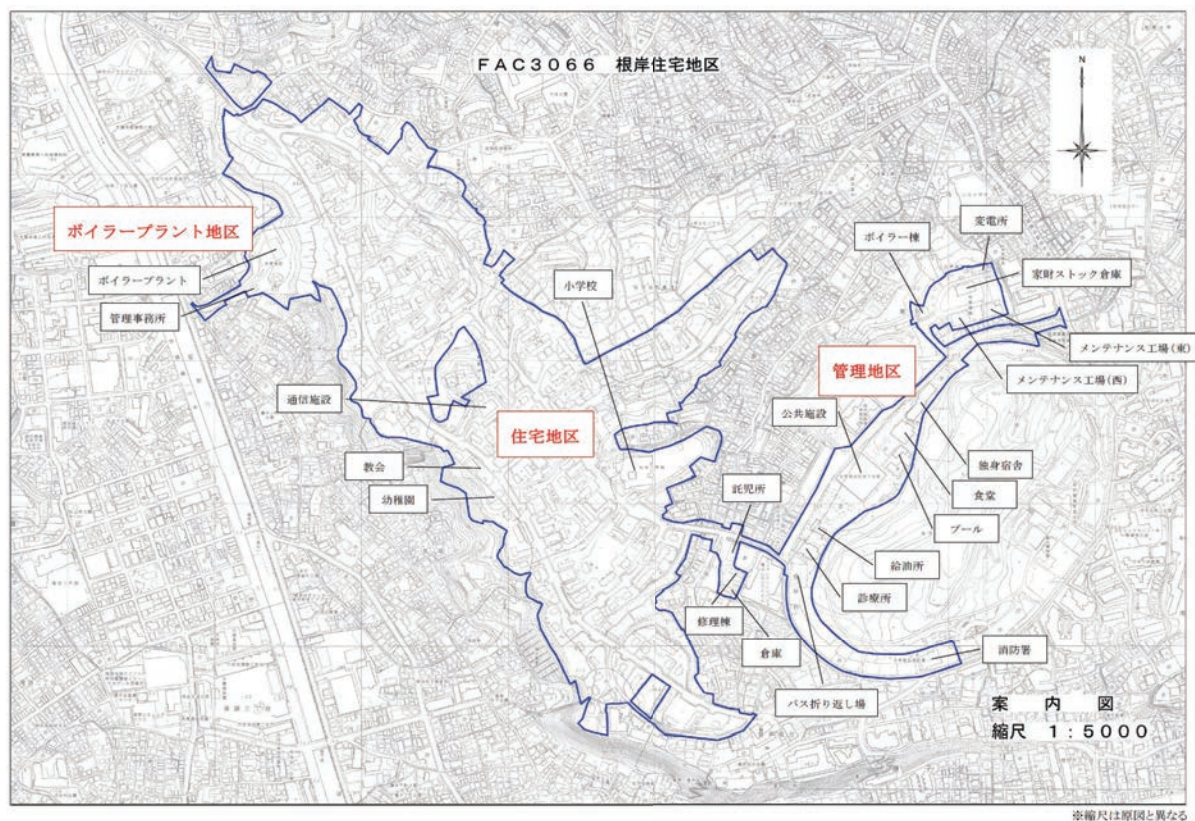


図-1 調査位置図

(3) 調査方法

土壌汚染対策法に係る調査に準じて、以下のとおり調査を実施した。

- (a) 土地利用履歴 (令和2年以降)
- (b) 土壌汚染対策法に係る区域指定状況

(4) 調査結果の概要

形質変更時届出区域に指定された以降に防衛省へヒアリングを実施し、土地利用に変化がないことを確認したため、消防署を除く指定区域における新たな土壤汚染のおそれはないと判断された。

(a) 土地利用履歴調査

ア. 資料調査

図-2 と図-3 に、平成 25 年 (2013 年) 及び令和 3 年 (2021 年) の横浜市建設局発行 1:2,500 地形図を示した。

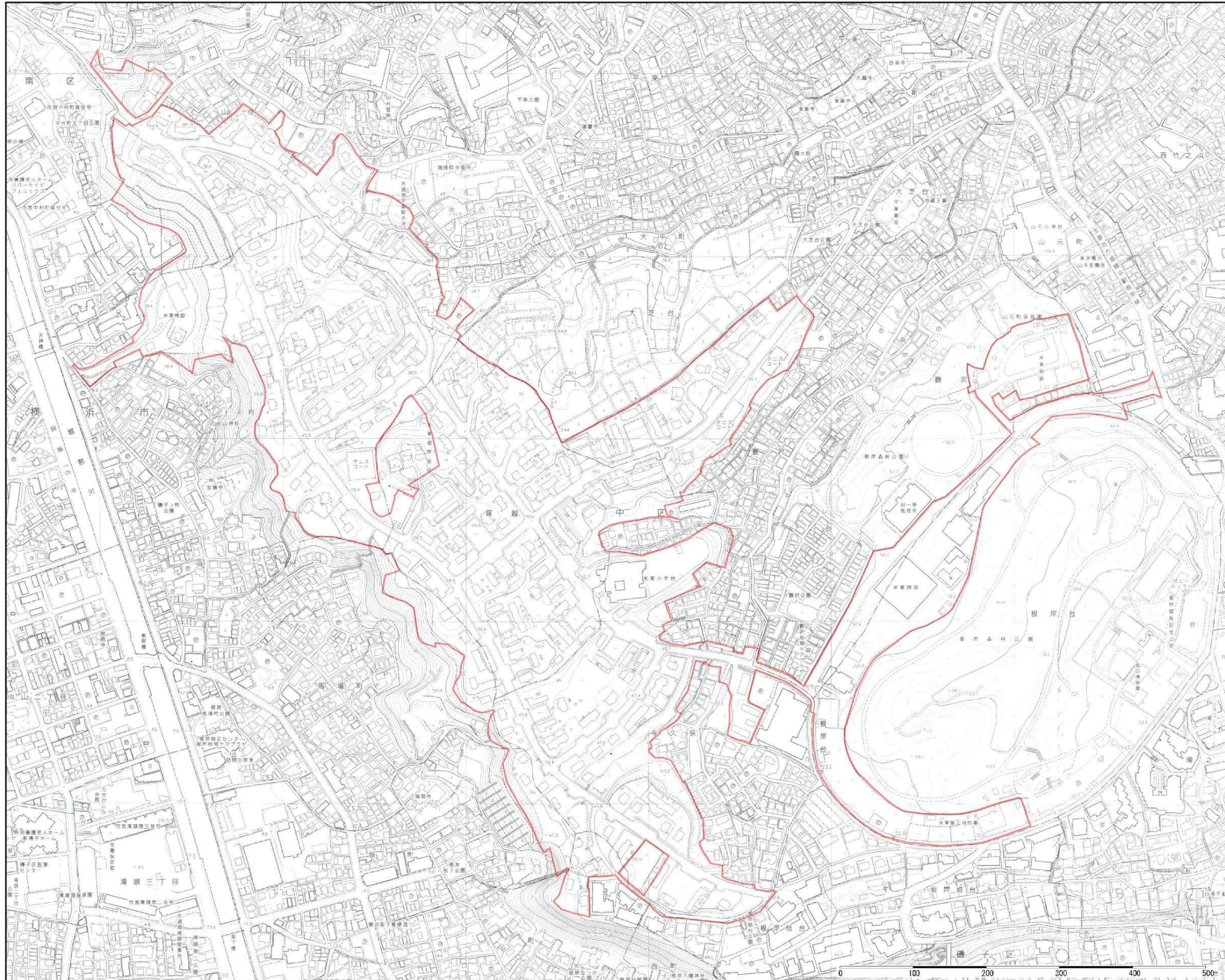
地歴調査以後、米軍から返還のための建物の撤去作業が実施されているだけで、基本的には土地利用はない。

イ. 聞き取り調査

防衛省の土壤汚染状況調査後の土地利用履歴について、聞き取り調査を行った (別添、防衛省聞き取り資料参照)。消防署は継続して稼働しているが、基本的には土地利用の変化はない。

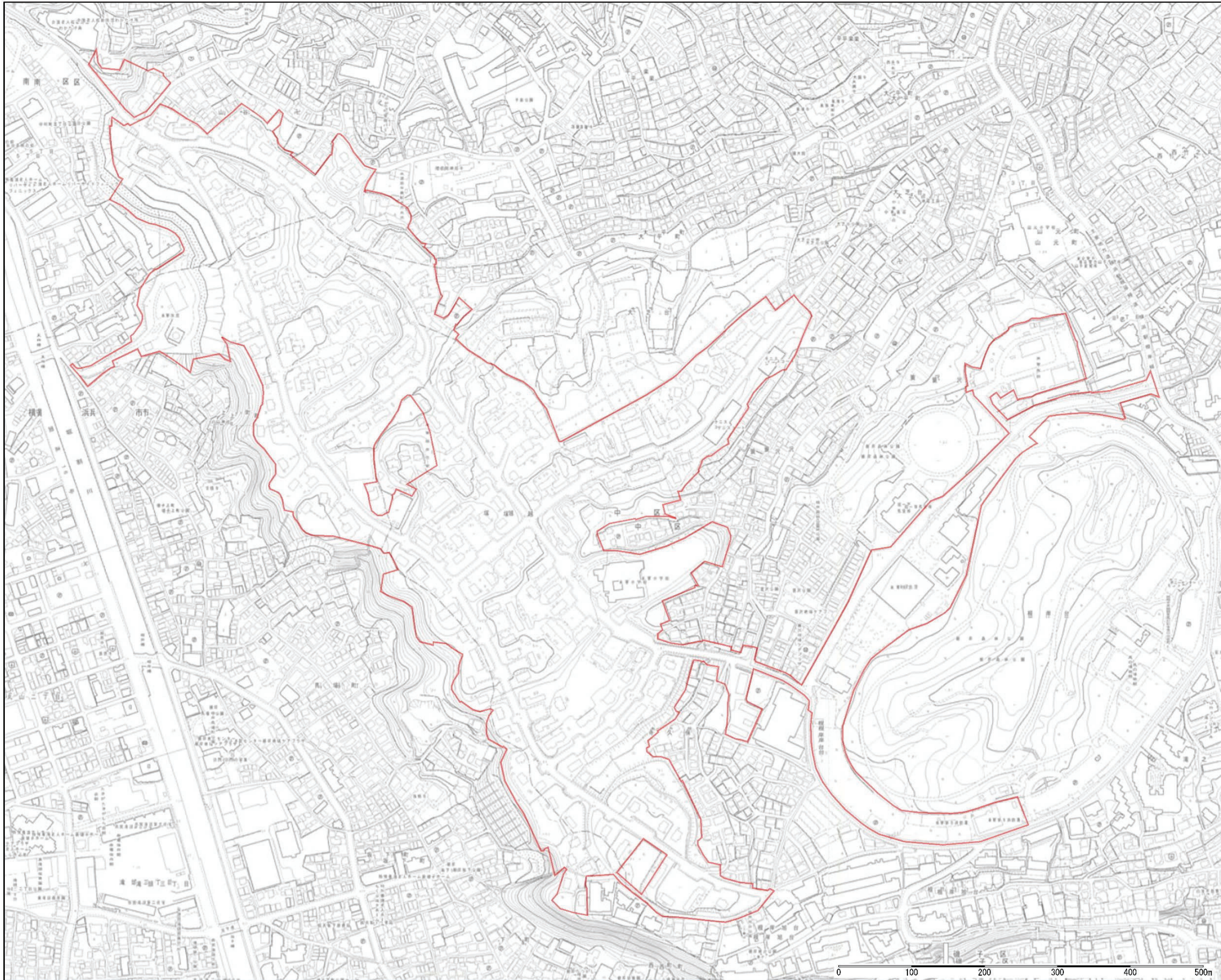
<主な聞き取り内容>

- ・住宅地区及びボイラープラント地区内の既設構造物及び地下埋設物について撤去工事を実施している。(南関東防衛局) → 土壤汚染対策法に係る区域指定済であり、工事については適切に実施されていることから土壤汚染のおそれはないと評価される。
- ・消防署内の資機材保管庫にて携行缶 (容量: 19L) でガソリン (使用用途: 可搬式発電機) が保管されている。(米軍)。→ ガソリンに特定有害物質であるベンゼンが含まれるが、前回調査の令和 2 年 10 月以降は保管容器からの出し入れはなく、適切に保管・管理されていることから土壤汚染が拡散している可能性はないと評価される。



「横浜市建築局発行 1/2,500 地形図(時田・山元町)」 ※縮尺は原図と異なる。

図-2 平成 25 年 (2013 年) 修正地形図



「横浜市建設局発行 1/2,500 地形図(蔭田・山元町)」 ※縮尺は原図と異なる。

図-3 令和3年(2021年)修正地形図

(b) 土壌汚染に係る調査及び区域の指定等の経緯

防衛省により実施された土壌汚染状況調査の結果を受けて、横浜市は調査対象地内の土壌汚染確認区画を対象として、形質変更時要届出区域として指定し、公示している。ただし、表-2 に示すように、指定された区域の一部は、③詳細調査で行われた追完調査や、土壌汚染の除去（基準不適合土壌の掘削による除去）により、指定を解除している。

表-2 土壌汚染対策法に基づく区域の指定・解除の状況

様式第二十三(第五十八条第五項関係)

形質変更時要届出区域台帳

横浜市

整理番号	整-R04-12	指定年月日・指定番号	令和5年1月13日・指-215	所在地	中区寺久保一養沢、根岸台及び山元町4丁目地内、南区山谷地内、磯子区土町地内(別図のとおり)
調整・訂正年月日	令和5年1月13日調整(新規指定)、令和5年2月16日訂正(認定調査、形質変更1届出、搬出1届出)、令和5年4月6日訂正(追完・詳細調査、一部解除1)、令和5年7月14日訂正(形質変更1中間報告、一部解除2)、令和5年8月7日訂正(形質変更2届出、搬出2届出)、令和5年8月14日訂正(形質変更1完了報告)、令和5年10月25日訂正(一部解除3)				
形質変更時要届出区域の概況	事業所跡地	面積	6,475.132平方メートル 6,481.225平方メートル (R5.3.24) 6,181.225平方メートル (R5.7.14)	5,003.381平方メートル (R5.10.25)	
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨					
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類					
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該省略の理由					
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該汚染の除去等の措置					
形質変更時要届出区域の一部について、省略した調査の過程を改めて実施した結果、土壌溶出量基準又は土壌含有量基準に適合することを確認した (R5.3.24一部解除) 形質変更時要届出区域の一部について、土壌汚染の除去(基準不適合土壌の掘削による除去)が講じられた。(R5.7.14、R5.10.25一部解除)					
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあっては、その旨					
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目	指定調査機関の名称
	令和4年3月30日 令和5年2月2日 (追完・詳細調査)	クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン		含有量基準・溶出量基準、第二溶出量基準	
		水銀及びその化合物、鉛及びその化合物		含有量基準・溶出量基準、第二溶出量基準	
		ふっ素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準、第二溶出量基準	
砒素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準、第二溶出量基準			

土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
	令和5年1月16日 (令和5年1月30日)	令和5年7月21日	土壌の掘削、アスファルト舗装撤去、コンクリート舗装撤去、埋戻し	南関東防衛局	有・無	分別等処理
令和5年7月31日 (令和5年8月17日)	令和5年8月31日	土壌の掘削、アスファルト舗装撤去、コンクリート舗装撤去、埋戻し	南関東防衛局	有・無	分別等処理	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

・新規指定：令和5年1月13日、面積6,475.132m²

第一種特定有害物質：~~クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン~~ (溶出量、第二溶出量)

第二種特定有害物質：水銀、鉛 (含有量、溶出量)

ふっ素 (溶出量、第二溶出量)

砒素 (溶出量)



横浜市建築局都市計画基本図データにより作成【横浜市地形図複製承認番号 平31建都計第9008号】

横浜市中区の一部

形質変更時要届出区域：■
指-215

0 60 120 240 360 480

メートル



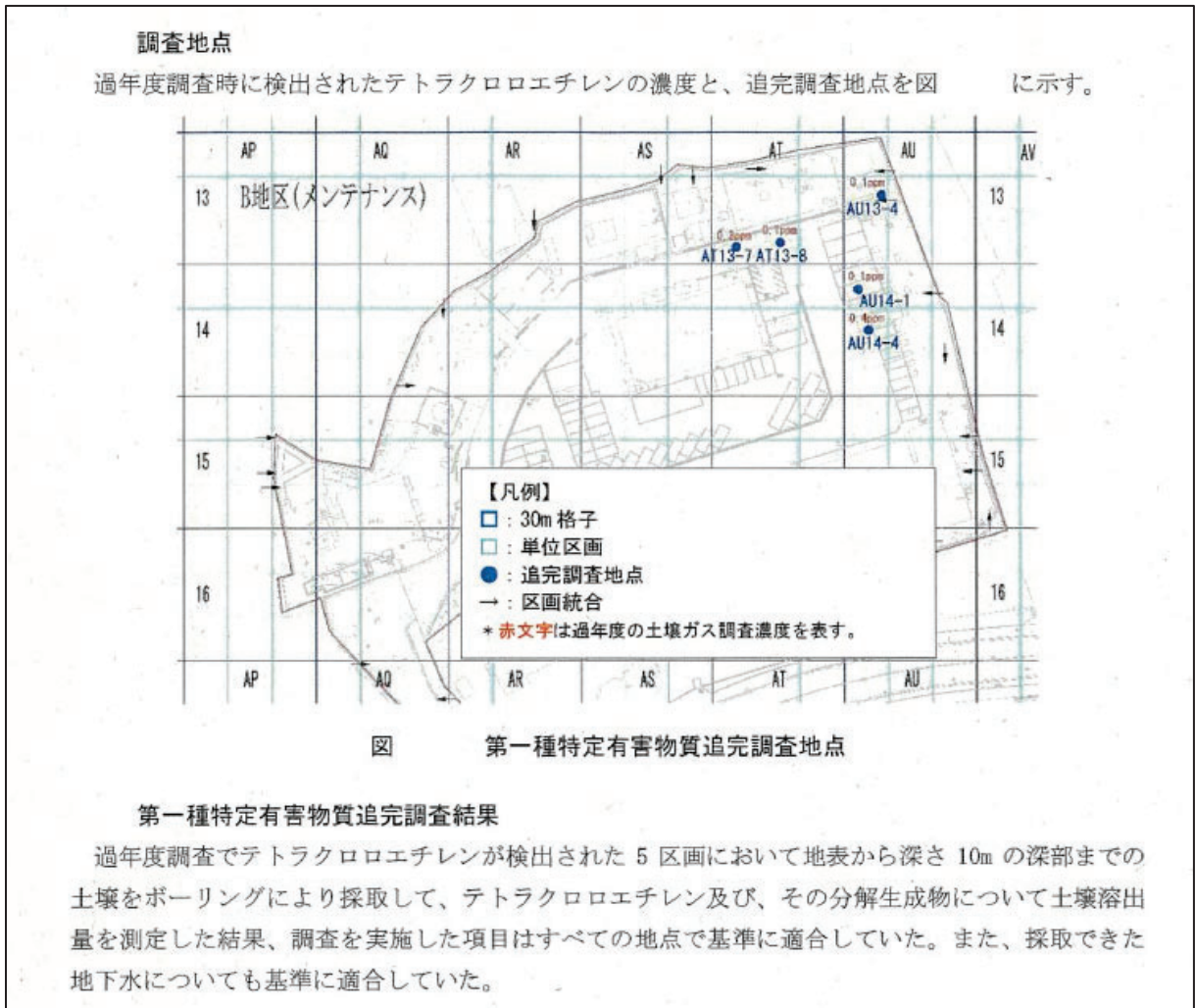
図-5.1 指定区域の案内図

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/kiseishido/dojo/dojoosen/joho/kuiki-daichou.files/h-215b.pdf>

※令和 5 年 4 月 6 日訂正（追完・詳細調査、一部解除）面積 5,481.225m² (R5.3.24)

追完調査・詳細調査の結果、B地区のテトラクロロエチレンとその分解生成物質（クロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン）について、基準適合を確認したため、一部区域が解除された。

なお、第二種特定有害物質（鉛（含有量）、水銀（含有量、溶出量）、ふっ素（溶出量）、砒素（溶出量））の基準不適合の範囲については区域指定がされたままである。

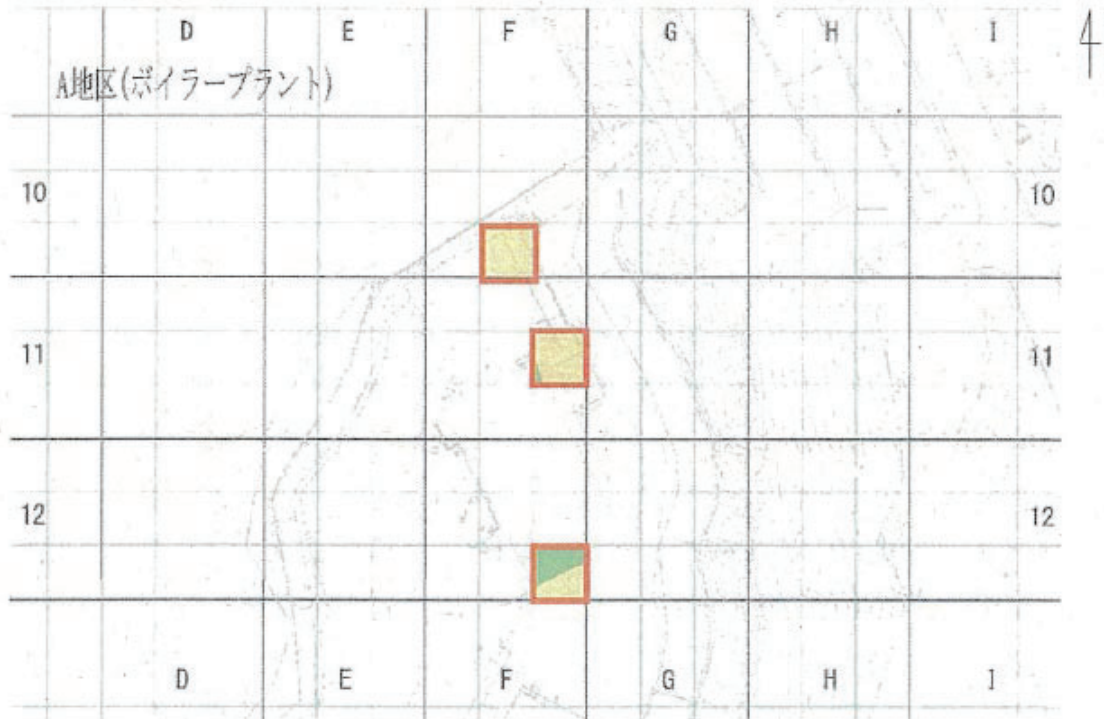


※令和5年7月14日訂正（追完・詳細調査、一部解除2）面積 5,181.225m² (R5.7.14)

A地区の鉛の含有量基準不適合土壌について、掘削除去が完了したため、一部区域が解除された。

形質変更時要届出区域の状況を明らかにした図面

所在地：指-215

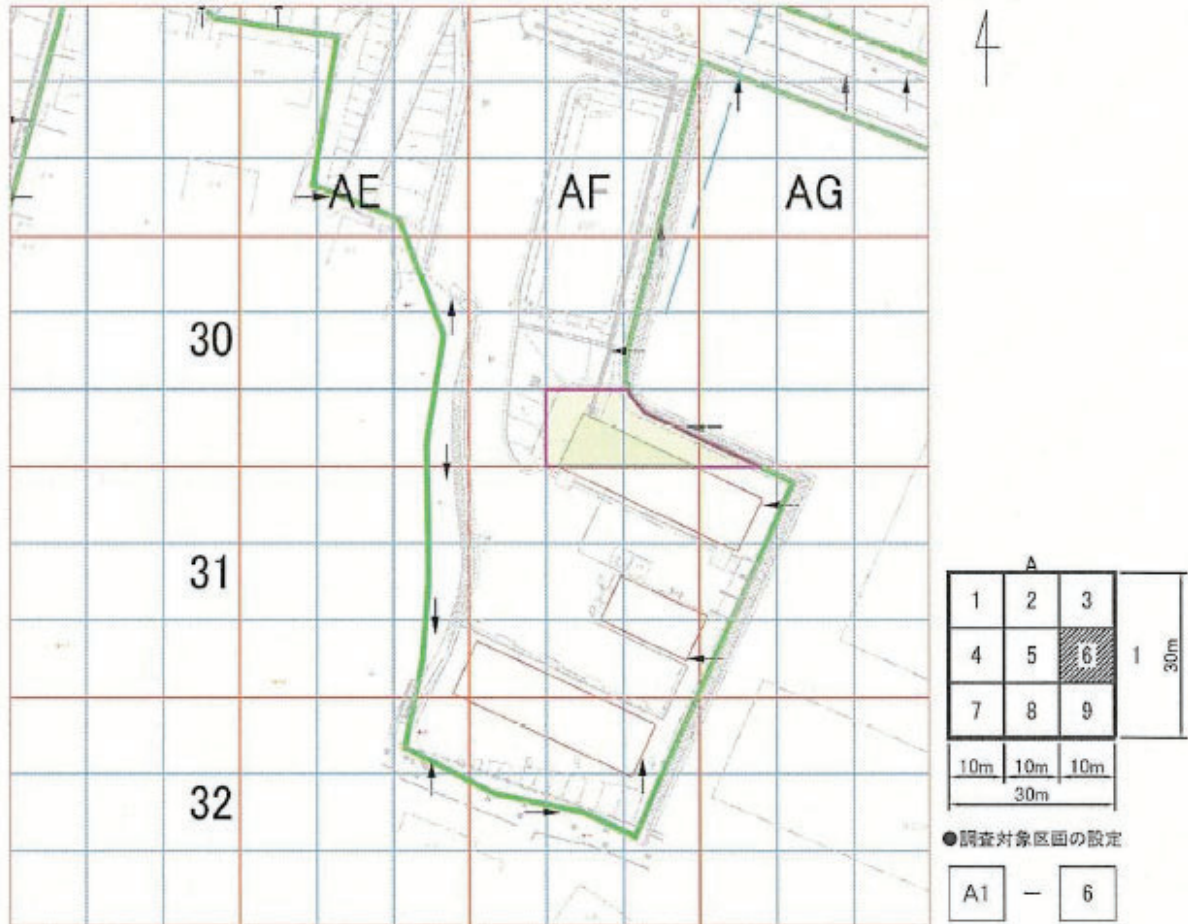


※建物基礎解体範囲に汚染土壌は存在しない。

深度 (m)	鉛及びその化合物 (含有量) (mg/kg)			
	F10-8	F11-6	F12-9	
表層 (GL~-0.5)	200	180	250	掘削・搬出範囲
1.0	<10	65	<10	
T.P (m)	+7.90	+7.75	+7.66	
2.0	<10	<10	<10	
3.0	<10	<10	<10	
4.0	<10	12	<10	
5.0	<10	<10	<10	
6.0	<10	<10	<10	
7.0	<10	<10	<10	
8.0	<10	10	<10	
9.0	<10	10	<10	
10.0	<10	<10	<10	

※令和5年10月25日訂正（一部解除3）面積5,003.381m²（R5.10.25）

A地区の鉛の含有量基準不適合土壌について、掘削除去が完了したため、一部区域が解除された。



	鉛及びその化合物 (含有量) (mg/kg)	ふっ素及びその化合物 (溶出量) (mg/L)	
深度 (m)	AF30-8	AF30-9、AG30-7	
表層 (GL~-0.5)	160	1.6	掘削・搬出範囲
1.0	19	<0.08	
T.P (m)	+43.66	+43.85	
2.0	52	<0.08	
3.0	20	<0.08	
4.0	<10	<0.08	
5.0	<10	0.09	
6.0	<10	0.11	
7.0	<10	0.09	
8.0	<10	0.08	
9.0	<10	0.16	
10.0	<10	0.17	

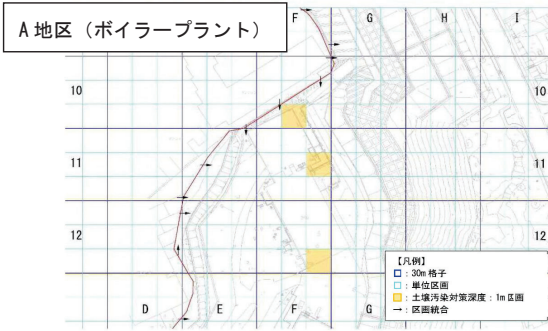


图 4.1 A 地区 (ボイラープラント) 土壤汚染対策深度

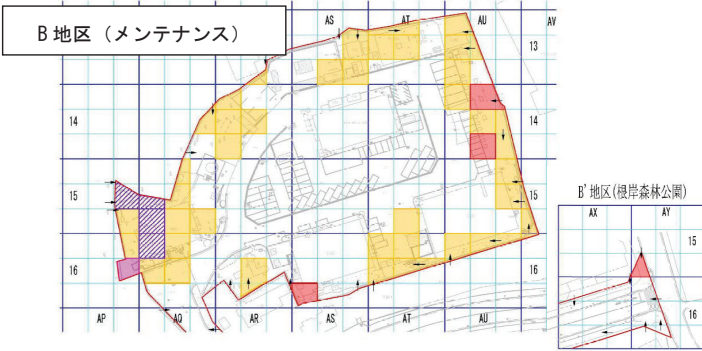


图 4.2 B 地区 (メンテナンス)、B' 地区 (椋岸森林公園) 土壤汚染対策深度

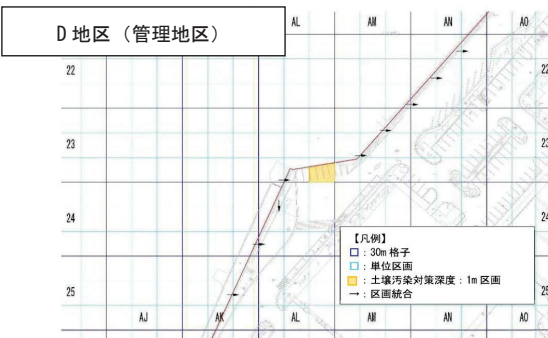


图 4.3 D 地区 (管理地区) 土壤汚染対策深度

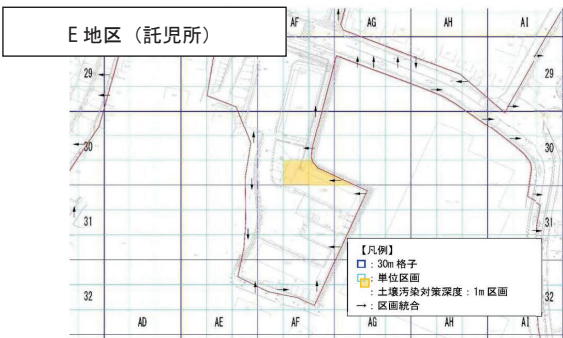


图 4.4 E 地区 (託児所) 土壤汚染対策深度

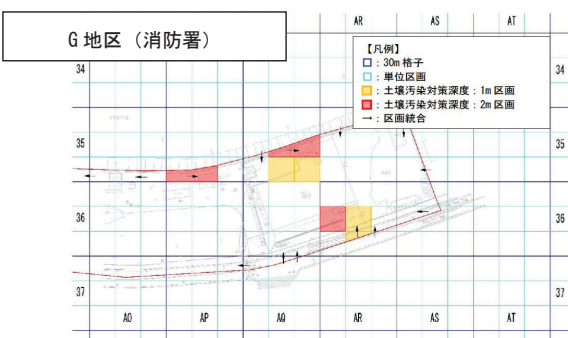


图 4.5 G 地区 (消防署) 土壤汚染対策深度



資料 土壤汚染聞き取り調査結果

2. Items to Confirm Regarding the Fire Station (消防署に関する確認事項)

If there have been any changes since October 2020 in the handling, status of hazardous substances (e.g., gasoline, oils, or chemicals regulated under Japanese environmental laws), please provide details below. (令和2年10月以降に、有害物質の取扱い状況などに変化がある場合は、以下にご記入ください。)

(1) Storage Conditions of Gasoline Managed in the Storage Shed

(物置で管理されているガソリンの保管状況)

Item (項目)	Entry column (ご記入欄)	Reference (参考) (including the results of previous interview surveys) (以前の聞き取り結果など)
Storage Location (保管場所)		Fire station storage shed (消防署物置)
Storage Method (保管方法)		Portable container (携行缶)
Stored Quantity (保管量)		
Usage Method (使用方法)		
Transfer from containers (保管容器から出し入れをしたことの有無)	Yes / No <If Yes: Location(s) where materials were transferred> (有 / 無<有の場合: 出し入れを行った場所>)	If materials were transferred outside the fire station property (e.g., during training), please indicate "No". (訓練など消防署敷地以外で出し入れがある場合は「無」と記載してください。)
Presence / Absence of Leak (漏洩の有無)	Yes / No <If Yes: Outline of the situation> (有 / 無<有の場合: 漏洩状況の概要>)	None (無)

(2) Records of spill incidents and underground dumping involving chemicals or materials containing hazardous substances. (有害物質を含む薬品等の流出事故・地中への投棄記録)

Item (項目)	Entry column (ご記入欄)	Reference (参考) (including the results of previous interview surveys) (以前の聞き取り結果など)
Presence / Absence of records (記録の有無)	Yes / No <If yes: date and time, location, substance name, quantity> (有 / 無<有の場合: 日時、場所、物質名・量>)	No records (記録なし)

< Contact information regarding survey details (調査内容に関する問い合わせ先) >

• Survey Company: Nippon Koei Urban Space Co., Ltd. (調査業者: 日木工営都市空間㈱)

• Contact Person: [Redacted] 担当者: [Redacted]

[Redacted] (Direct Line) E-mail: [Redacted]@n-koei.co.jp

Reference: Environmental Quality Standards for Soil Contamination (Japan)
/ 土壤汚染に係る環境基準

Soil Leaching Standards / 土壤溶出量基準

Substance (EN)	物質名 (JP)	Standard Value / 基準値	Unit / 単位
Vinyl chloride	クロロエチレン	≤ 0.002	mg/L
Carbon tetrachloride	四塩化炭素	≤ 0.002	mg/L
1,2-Dichloroethane	1,2-ジクロロエタン	≤ 0.004	mg/L
1,1-Dichloroethylene	1,1-ジクロロエチレン	≤ 0.1	mg/L
1,2-Dichloroethylene	1,2-ジクロロエチレン	≤ 0.04	mg/L
1,3-Dichloropropene	1,3-ジクロロプロペン	≤ 0.002	mg/L
Dichloromethane	ジクロロメタン	≤ 0.02	mg/L
Tetrachloroethylene	テトラクロロエチレン	≤ 0.01	mg/L
1,1,1-Trichloroethane	1,1,1-トリクロロエタン	≤ 1	mg/L
1,1,2-Trichloroethane	1,1,2-トリクロロエタン	≤ 0.006	mg/L
Trichloroethylene	トリクロロエチレン	≤ 0.01	mg/L
Benzene	ベンゼン	≤ 0.01	mg/L
Cadmium and its compounds	カドミウム及びその化合物	≤ 0.003	mg/L
Hexavalent chromium compounds	六価クロム化合物	≤ 0.05	mg/L
Cyanide compounds	シアン化合物	Not detectable	-
Mercury and its compounds	水銀及びその化合物	≤ 0.0005 (Alkyl mercury ND)	mg/L
Selenium and its compounds	セレン及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Lead and its compounds	鉛及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Arsenic and its compounds	砒素及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Fluorine and its compounds	ふっ素及びその化合物	≤ 0.8	mg/L
Boron and its compounds	ほう素及びその化合物	≤ 1	mg/L
Simazine	シマジン	≤ 0.003	mg/L
Thiobencarb	チオベンカルブ	≤ 0.02	mg/L
Thiram	テウラム	≤ 0.006	mg/L
Polychlorinated biphenyls (PCB)	ポリ塩化ビフェニル	Not detectable	-
Organophosphorus compounds	有機りん化合物	Not detectable	-

Soil Content Standards / 土壤含有量基準

Substance (EN)	物質名 (JP)	Standard Value / 基準値	Unit / 単位
Cadmium and its compounds	カドミウム及びその化合物	≤ 45	mg/kg
Hexavalent chromium compounds	六価クロム化合物	≤ 250	mg/kg
Cyanide compounds (as free cyanide)	シアン化合物(遊離シアンとして)	≤ 50	mg/kg
Mercury and its compounds	水銀及びその化合物	≤ 15	mg/kg
Selenium and its compounds	セレン及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Lead and its compounds	鉛及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Arsenic and its compounds	砒素及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Fluorine and its compounds	ふっ素及びその化合物	≤ 4,000	mg/kg
Boron and its compounds	ほう素及びその化合物	≤ 4,000	mg/kg

Attachment: Interview survey sheet regarding Soil Contamination in Negishi Housing Area

(別添：根岸住宅地区における土壌汚染に関する聞き取り調査シート)

■ Respondent Information (記入者情報)

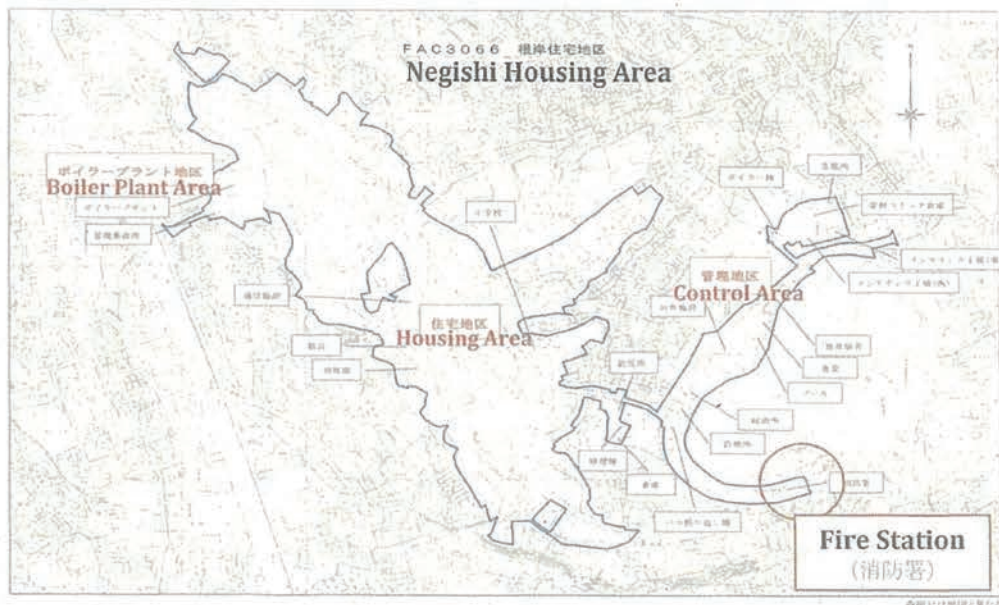
Affiliation (所属)	CNRJ F&ES DISTRICT-3 A-shift
Name (担当者名)	[REDACTED]
Contact information (Phone / Email) (連絡先 (電話・メール))	[REDACTED]@us.navy.mil
Date (記入日)	16 Mar 2026

1. Land Use Status in Negishi Housing Area (根岸住宅地区の土地利用状況について)

Within the area shown below, please describe the details of any changes in land use since October 2020, if applicable.

(下図の範囲において、令和2年10月以降に土地利用の変化がある場合はその内容をご記入ください。)

Item (項目)	Entry column (ご記入欄)
Presence / Absence of Land Use Change (土地利用の変化の有無)	Yes / No <If yes, describe the details> 有 / 無 <変化がある場合の内容>



2. Items to Confirm Regarding the Fire Station (消防署に関する確認事項)

If there have been any changes since October 2020 in the handling, status of hazardous substances (e.g., gasoline, oils, or chemicals regulated under Japanese environmental laws), please provide details below. (令和2年10月以降に、有害物質の取扱い状況などに変化がある場合は、以下にご記入ください。)

(1) Storage Conditions of Gasoline Managed in the Storage Shed (物置で管理されているガソリンの保管状況)

Item (項目)	Entry column (ご記入欄)	Reference (参考) (including the results of previous interview surveys) (以前の聞き取り結果など)
Storage Location (保管場所)	Fire station storage shed (There was moved to Tsurumi Fire Station on March 1, 2026)	Fire station storage shed (消防署物置)
Storage Method (保管方法)	Portable container	Portable container (携行缶)
Stored Quantity (保管量)	5 gallon (19 ℓ)	
Usage Method (使用方法)	Refueling portable generators	
Transfer from containers (保管容器から出し入れをしたことの有無)	Yes / No <If Yes: Location(s) where materials were transferred> (有 / 無: 有の場合: 出し入れを行った場所)	If materials were transferred outside the fire station property (e.g., during training), please indicate "No". (訓練など消防署敷地以外で出し入れがある場合は、「無」と記載してください。)
Presence / Absence of Leak (漏洩の有無)	Yes / No <If Yes: Outline of the situation> (有 / 無: 有の場合: 漏洩状況の概要)	None (無)

(2) Records of spill incidents and underground dumping involving chemicals or materials containing hazardous substances. (有害物質を含む薬品等の流出事故・地中への投棄記録)

Item (項目)	Entry column (ご記入欄)	Reference (参考) (including the results of previous interview surveys) (以前の聞き取り結果など)
Presence / Absence of records (記録の有無)	Yes / No <If yes: date and time, location, substance name, quantity> (有 / 無: 有の場合: 日時、場所、物質名・量)	No records (記録なし)

< Contact information regarding survey details (調査内容に関する問い合わせ先) >
 ・ Survey Company: Nippon Koei Urban Space Co., Ltd. (調査業者: 日本工営都市空間株式会社)
 ・ Contact Person: [Redacted] (担当者: [Redacted])
 [Redacted] (Direct Line) E-mail: [Redacted]@n-koei.co.jp

Reference: Environmental Quality Standards for Soil Contamination (Japan)
/ 土壤汚染に係る環境基準

Soil Leaching Standards / 土壤溶出量基準

Substance (EN)	物質名 (JP)	Standard Value / 基準値	Unit / 単位
Vinyl chloride	クロロエチレン	≤ 0.002	mg/L
Carbon tetrachloride	四塩化炭素	≤ 0.002	mg/L
1,2-Dichloroethane	1,2-ジクロロエタン	≤ 0.004	mg/L
1,1-Dichloroethylene	1,1-ジクロロエチレン	≤ 0.1	mg/L
1,2-Dichloroethylene	1,2-ジクロロエチレン	≤ 0.04	mg/L
1,3-Dichloropropene	1,3-ジクロロプロペン	≤ 0.002	mg/L
Dichloromethane	ジクロロメタン	≤ 0.02	mg/L
Tetrachloroethylene	テトラクロロエチレン	≤ 0.01	mg/L
1,1,1-Trichloroethane	1,1,1-トリクロロエタン	≤ 1	mg/L
1,1,2-Trichloroethane	1,1,2-トリクロロエタン	≤ 0.006	mg/L
Trichloroethylene	トリクロロエチレン	≤ 0.01	mg/L
Benzene	ベンゼン	≤ 0.01	mg/L
Cadmium and its compounds	カドミウム及びその化合物	≤ 0.003	mg/L
Hexavalent chromium compounds	六価クロム化合物	≤ 0.05	mg/L
Cyanide compounds	シアン化合物	Not detectable	-
Mercury and its compounds	水銀及びその化合物	≤ 0.0005 (Alkyl mercury ND)	mg/L
Selenium and its compounds	セレン及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Lead and its compounds	鉛及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Arsenic and its compounds	砒素及びその化合物	≤ 0.01	mg/L
Fluorine and its compounds	フッ素及びその化合物	≤ 0.8	mg/L
Boron and its compounds	ほう素及びその化合物	≤ 1	mg/L
Simazine	シマジン	≤ 0.003	mg/L
Thiobencarb	チオベンカルブ	≤ 0.02	mg/L
Thiram	チウラム	≤ 0.006	mg/L
Polychlorinated biphenyls (PCB)	ポリ塩化ビフェニル	Not detectable	-
Organophosphorus compounds	有機りん化合物	Not detectable	-

Soil Content Standards / 土壤含有量基準

Substance (EN)	物質名 (JP)	Standard Value / 基準値	Unit / 単位
Cadmium and its compounds	カドミウム及びその化合物	≤ 45	mg/kg
Hexavalent chromium compounds	六価クロム化合物	≤ 250	mg/kg
Cyanide compounds (as free cyanide)	シアン化合物(遊離シアンとして)	≤ 50	mg/kg
Mercury and its compounds	水銀及びその化合物	≤ 15	mg/kg
Selenium and its compounds	セレン及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Lead and its compounds	鉛及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Arsenic and its compounds	砒素及びその化合物	≤ 150	mg/kg
Fluorine and its compounds	フッ素及びその化合物	≤ 4,000	mg/kg
Boron and its compounds	ほう素及びその化合物	≤ 4,000	mg/kg